日語	中文
施工品質管理アプリの開発概要 　施工品質管理アプリの開発概要を以下に示します。次ページから日本の施工品質管理が、どのように取り組まれているかを説明します。	施工品质管理 APP 开发的概要 施工品质管理 APP 的开发概要如下所示。从下一页开始说明日本的施工品质管理是如何进行的。 【三根柱子】 ＜信息共享＞ 　①云共享信息 　②ＳＮＳ・聊天 ＜建设工作＞ 　③一般会计(合同、出入金、报价单等) 　④成本管理(材料等的订购、劳务费等) 　⑤顾客管理(数据库化、售后服务) ＜施工品质管理＞ 　⑥制作工程表(条形图・箭形图) 　⑦施工照片管理(小黑板) 　⑧品质管理 (检查确认表) 　⑨各种报告(包括勤怠管理) 【两个课题】 　①施工管理的Ｑ・Ｃ・Ｄ・Ｓ・Ｅ没有系统地定位 　②不遵循质量管理的手法 【扩展功能】 ＜开始前＞ 　①现场调查·现有信息 　②与劳务匹配应用程序的联动 ＜施工中＞ 　③对图纸特别记载事项的检索 (相关法规、目录) 　④根据产品目录数据制定预算 　⑤品质检查确认表等的标准格式 　⑥检查记录的图纸截图 ＜完成后＞ 　⑦提交客户文件的编辑 　⑧答疑记录的制作　→　完成图检查 　⑨各种报告书的统计处理(分析・统计) 　⑩与公寓管理应用程序的联动 【展开】 ＜一个平台＞ ・施工管理应用程序 ＜两个合作＞ ・劳务匹配 ・公寓管理 ＜三个发展＞ ・防灾护照创建 ・灾害受灾调查 ・受灾复兴融资 ＜多语言化＞ ・英语・中文・俄语・西班牙语・葡萄牙语・泰语・越南语・缅甸语

日語	中文

◆　日本の施工品質管理

日本の施工品質管理が、どのように取り組まれているか。施工品質管理における継続的な改善は、PDCA サイクル（PDCA cycle、Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善））の 4 段階を繰り返す方法を採用しています。そのサイクルを回すために、大きく二つの取り組みをしています。①記録と②分析です。その二つがどのように運用されているかを説明します。

行う品質管理については、設計図書に明記し、契約書に添付します。

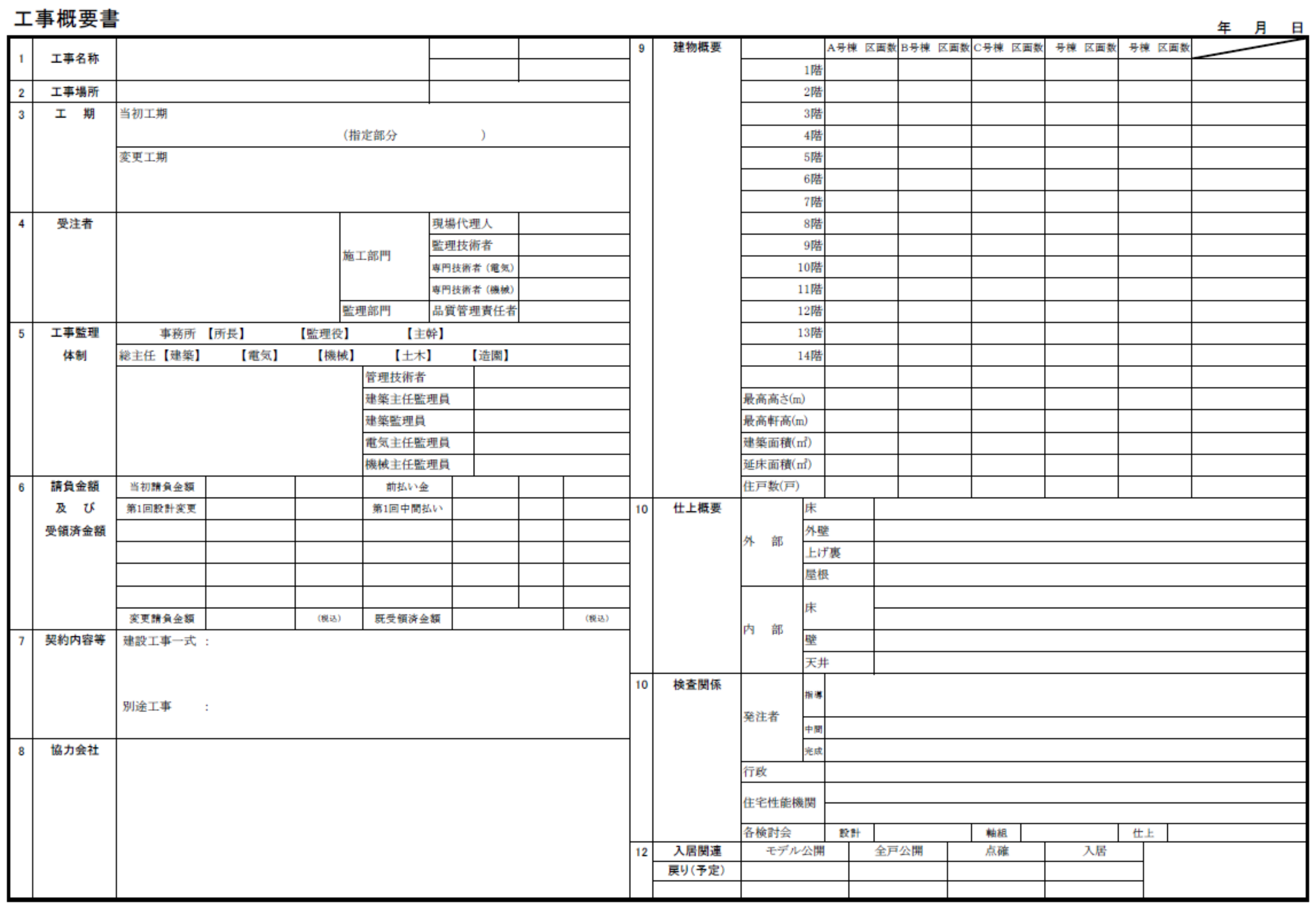
最初に、「工事概要書」と「工事完成引継書類」です。計画段階と着工段階は、「工事概要書」で工事関係者間の情報共有を行います。工事の進捗に合わせて内容を修正しながら、工事完成まで使用します。工事が完成後、工事の情報は、「工事完成引継書類」で全ての工事関係者の情報を集約し、施主と情報共有を行います。

工事概要書は、新築工事、修繕工事全体を想定しています。全体を想定したうえで、必要なものを取捨選択します。

工事完成引継書類に「○」、「×」、「対象外」の欄があります。有りは「○」、無しは「×」、不要なものは「対象外」とします。品質管理を安定させるためには、漏れなく確認することが重要です。漏れなく確認することで属人性が排除され、誰がやっても一定の結果が得られます。どの項目を「対象外」とするかを事前に整理して置けば、その工事に特定した書式になります。

＜工事概要書　06_03_04_22＞

これは、工事全体の概要をまとめた書式です。鉄筋コンクリートでマンションを建設することを想定しました。


工事概要書　年　月　日
1 工事名称
2 工事場所
3 工期　当初工期　（指定部分　）　変更工期
4 受注者　施工部門　現場代理人　監理技術者　専門技術者（電気）　専門技術者（機械）　監理部門　品質管理責任者
5 工事監理体制　事務所【所長】【監理役】【主幹】　総主任【建築】【電気】【機械】【土木】【造園】　管理技術者　建築主任監理員　建築監理員　電気主任監理員　機械主任監理員
6 請負金額及び受領済金額　当初請負金額　前払い金　第1回設計変更　第1回中間払い　変更請負金額（税込）　既受領済金額（税込）
7 契約内容等　建設工事一式：　別途工事　：
8 協力会社
9 建物概要　A号棟 区面数　B号棟 区面数　C号棟 区面数　号棟 区面数　号棟 区面数　号棟 区面数　1階　2階　3階　4階　5階　6階　7階　8階　9階　10階　11階　12階　13階　14階　最高高さ(m)　最高軒高(m)　建築面積(㎡)　延床面積(㎡)　住戸数(戸)
10 仕上概要　外部　床　外壁　上げ裏　屋根　内部　床　壁　天井
10 検査関係　発注者　指導　中間　完成　行政　住宅性能機関　各検討会　設計　軸組　仕上
12 入居関連 展り（予定）　モデル公開　全戸公開　点検　入居

◆　日本的施工品质管理

日本的施工品质管理是如何进行的呢。施工品质管理的持续改善采用了反复进行 PDCA 循环（PDCA cycle、Plan（计划）→Do（执行）→Check（评价）→Act（改善））4 个阶段的方法。为了旋转那个周期，我们做了两大努力。①记录和②分析。我来说明那两个是怎么运用的。

关于进行的品质管理，在设计图上写明，并附在合同书中。

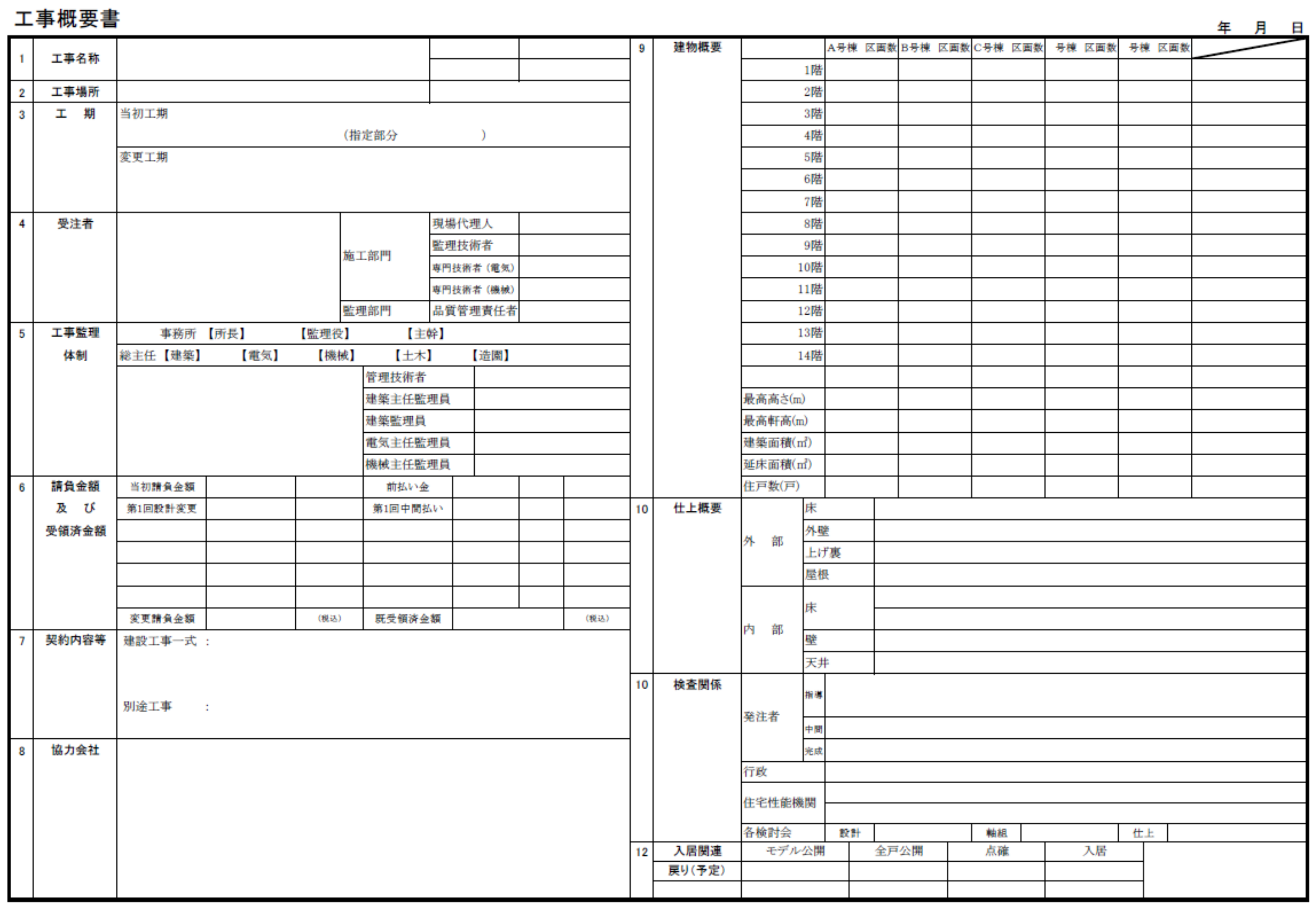
首先是“工程概要书”和“工程完成交接文件”。计划阶段和开工阶段，用“工程概要书”进行工程相关人员之间的信息共享。根据工程的进展修改内容，直到工程完成为止使用。工程完成后，工程的信息用“工程完成继承文件”汇集所有工程相关人员的信息，与施主共享信息。

工程概要书设想了新建工程和修缮工程的整体情况。在设想整体的基础上，取舍选择必要的东西。

在工程完成交接文件上写上“○”、“×”、有“对象外”栏。有是“○”，没有是“×」、不需要的东西作为“对象外”。为了稳定质量管理，确认无遗漏是很重要的。没有遗漏地确认的话就会排除属人性，无论谁做都会得到一定的结果。如果事先整理好哪些项目是“对象外”的话，就变成了工程特定的格式。

＜工程概要书　06_03_04_22＞

这是总结了整个工程概要的格式。我设想了用钢筋混凝土建造公寓。


工事概要書　年　月　日
1 工事名称
2 工事場所
3 工期　当初工期　（指定部分　）　変更工期
4 受注者　施工部門　現場代理人　監理技術者　専門技術者（電気）　専門技術者（機械）　監理部門　品質管理責任者
5 工事監理体制　事務所【所長】【監理役】【主幹】　総主任【建築】【電気】【機械】【土木】【造園】　管理技術者　建築主任監理員　建築監理員　電気主任監理員　機械主任監理員
6 請負金額及び受領済金額　当初請負金額　前払い金　第1回設計変更　第1回中間払い　変更請負金額（税込）　既受領済金額（税込）
7 契約内容等　建設工事一式：　別途工事　：
8 協力会社
9 建物概要　A号棟 区面数　B号棟 区面数　C号棟 区面数　号棟 区面数　号棟 区面数　号棟 区面数　1階　2階　3階　4階　5階　6階　7階　8階　9階　10階　11階　12階　13階　14階　最高高さ(m)　最高軒高(m)　建築面積(㎡)　延床面積(㎡)　住戸数(戸)
10 仕上概要　外部　床　外壁　上げ裏　屋根　内部　床　壁　天井
10 検査関係　発注者　指導　中間　完成　行政　住宅性能機関　各検討会　設計　軸組　仕上
12 入居関連 展り（予定）　モデル公開　全戸公開　点検　入居

日語	中文
＜工事完成引継書類　10_03_08_07＞ 　これは、工事が完成したあとに施主に渡す書類のリストです。この一つ一つの項目を標準化した書式にしておけば、物件ごとのばらつきを少なくすることが出来ますし、物件ごとに比較することも可能になります。 　それぞれ PDF でまとめることを想定していますが、設備機器などの取扱説明書は、製造メーカから提供されるので紙ベースになることが多いです。こういう内容をファイルにして施主や管理会社に渡し、維持管理に活用します。	＜工程完成交接文件　10_03_08_07＞ 　这是工程完成后交给施主的文件清单。如果将这些一个一个的项目做成标准化的格式的话，可以减少各个物件的偏差。也可以对各个物件进行比较。 　虽然设想分别使用 PDF 进行汇总，但是设备机器等使用说明书是由制造商提供的，所以大多是以纸为基础。把这些内容做成文件交给施主或管理公司，用于维持管理。

保存書類・引継書類リスト

項　目	内　容	施工者保存書類	施主引継書類
工事概要・使用材料、ライフライン等	工事概要書 03_04_22	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	使用材料報告書 03_03_06	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	機材の品質証明等（評価書等）	PDFデータのみ ×	
	色彩計画書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	下請業者一覧表 03_04_14	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	鍵及び工具等明細書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	備品・補修材等リスト	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	保証書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	電気申込書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	共用電気メーター設置場所位置図/メーター番号・お客様番号一覧	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	水道申込書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	共用水道メーター設置場所位置図/メーター番号・お客様番号一覧	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	ガス申込書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	共用ガスメーター設置場所位置図/メーター番号・お客様番号一覧	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	住戸メーター最終指針一覧表(電気・水道)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
契約書	実施工程表 03_01_01	紙＋PDFデータ ×	
事務打合せ・施工記録等	現調報告・協議書 03_02_01	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	軽微な変更に係る協議結果（ワンレス） 03_02_03	紙＋PDFデータ ×	
	近隣及び第三者との折衝記録	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
（施工記録等（共通））	検査チェックシート 03_05_03 03_05_04	PDFデータのみ ×	
	近隣家屋等調査報告書	PDFデータのみ ×	PDFデータのみ ×
（施工記録等（電気））	機材の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	一般電力設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	受変電設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	電力貯蔵設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	発電設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	通信・情報設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	中央監視制御設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	現地総合試験の報告書	PDFデータのみ ×	
	アンテナ設置に係る測定及び報告書	PDFデータのみ ×	
	テレビ受信点調査報告書	PDFデータのみ ×	
	防災設備総合運動試験成績書(防災センター)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	電気設備設置届出書(副本)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	自家用電気工作物に関する引継書類	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	テレビ協同聴取設備(有線TV)関連書類	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	TV総合調整データ(写)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	テレビ電波受信障害防除に関する引継書類	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	電気絶縁・設置抵抗測定表・記電盤報試験表	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	その他書類	PDFデータのみ ×	
（施工記録等（機械））	通水試験成績書	PDFデータのみ ×	
	ポンプの試験成績書	PDFデータのみ ×	
	電動機の試験成績書	PDFデータのみ ×	
	ポンプ機器騒騒音測定結果書	PDFデータのみ ×	
	通通試験・機器作動試験結果表	PDFデータのみ ×	
	給気配管の水圧試験成績表	PDFデータのみ ×	
	排気配管の水圧試験成績表	PDFデータのみ ×	
	排気システムの総合調整の試験結果書	PDFデータのみ ×	
	換気扇の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	EV試験成績書	PDFデータのみ ×	
	ボンプ・ボイラー騒性能表	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	水圧・水質検査試験結果表	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	給熱・送排風・冷凍・空調機騒性能表	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	その他書類	PDFデータのみ ×	
その他必要と思われる書類	法令等に基づく届出チェックリスト	紙＋PDFデータ ×	
	建設リサイクル法関連書類	紙＋PDFデータ ×	
	産業廃棄物管理票（マニフェスト）	PDFデータのみ ×	
	建設副産物処理計画書	紙＋PDFデータ ×	
	建設副産物処理実施結果報告書	紙＋PDFデータ ×	
	化学物質の室内濃度測定	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
工事写真、完成図等	施工写真 04_02_06_08	紙＋PDFデータ ×	
	建物完成図	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	機器試験成績表・機器製作図(完成図)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
住棟LAN工事関係書類		紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
行政確認・検査書類	法令適部確認書	PDFデータのみ（種の写しのみ） ×	紙＋PDF(種原本)紙のみ(図面) ×
	エレベーター法令確認証	PDFデータのみ（種の写しのみ） ×	紙＋PDF(種原本)紙のみ(図面) ×
	消防設備等に関する届出書	PDFデータのみ（種の写しのみ） ×	紙＋PDF(種原本)紙のみ(図面) ×
	道路・土地等使用申込・許可書	PDFデータのみ（種の写しのみ） ×	紙＋PDF(種原本)紙のみ(図面) ×
取扱説明書等	機器等取扱説明書	紙のみ ×	紙のみ ×

保存書類・引継書類リスト

項　目	内　容	施工者保存書類	施主引継書類
工事概要・使用材料、ライフライン等	工事概要書 03_04_22	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	使用材料報告書 03_03_06	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	機材の品質証明等（評価書等）	PDFデータのみ ×	
	色彩計画書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	下請業者一覧表 03_04_14	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	鍵及び工具等明細書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	備品・補修材等リスト	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	保証書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	電気申込書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	共用電気メーター設置場所位置図/メーター番号・お客様番号一覧	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	水道申込書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	共用水道メーター設置場所位置図/メーター番号・お客様番号一覧	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	ガス申込書	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	共用ガスメーター設置場所位置図/メーター番号・お客様番号一覧	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	住戸メーター最終指針一覧表(電気・水道)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
契約書	実施工程表 03_01_01	紙＋PDFデータ ×	
事務打合せ・施工記録等	現調報告・協議書 03_02_01	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	軽微な変更に係る協議結果（ワンレス） 03_02_03	紙＋PDFデータ ×	
	近隣及び第三者との折衝記録	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
（施工記録等（共通））	検査チェックシート 03_05_03 03_05_04	PDFデータのみ ×	
	近隣家屋等調査報告書	PDFデータのみ ×	PDFデータのみ ×
（施工記録等（電気））	機材の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	一般電力設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	受変電設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	電力貯蔵設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	発電設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	通信・情報設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	中央監視制御設備工事の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	現地総合試験の報告書	PDFデータのみ ×	
	アンテナ設置に係る測定及び報告書	PDFデータのみ ×	
	テレビ受信点調査報告書	PDFデータのみ ×	
	防災設備総合運動試験成績書(防災センター)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	電気設備設置届出書(副本)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	自家用電気工作物に関する引継書類	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	テレビ協同聴取設備(有線TV)関連書類	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	TV総合調整データ(写)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	テレビ電波受信障害防除に関する引継書類	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	電気絶縁・設置抵抗測定表・記電盤報試験表	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	その他書類	PDFデータのみ ×	
（施工記録等（機械））	通水試験成績書	PDFデータのみ ×	
	ポンプの試験成績書	PDFデータのみ ×	
	電動機の試験成績書	PDFデータのみ ×	
	ポンプ機器騒騒音測定結果書	PDFデータのみ ×	
	通通試験・機器作動試験結果表	PDFデータのみ ×	
	給気配管の水圧試験成績表	PDFデータのみ ×	
	排気配管の水圧試験成績表	PDFデータのみ ×	
	排気システムの総合調整の試験結果書	PDFデータのみ ×	
	換気扇の試験成績表	PDFデータのみ ×	
	EV試験成績書	PDFデータのみ ×	
	ボンプ・ボイラー騒性能表	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	水圧・水質検査試験結果表	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	給熱・送排風・冷凍・空調機騒性能表	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	その他書類	PDFデータのみ ×	
その他必要と思われる書類	法令等に基づく届出チェックリスト	紙＋PDFデータ ×	
	建設リサイクル法関連書類	紙＋PDFデータ ×	
	産業廃棄物管理票（マニフェスト）	PDFデータのみ ×	
	建設副産物処理計画書	紙＋PDFデータ ×	
	建設副産物処理実施結果報告書	紙＋PDFデータ ×	
	化学物質の室内濃度測定	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
工事写真、完成図等	施工写真 04_02_06_08	紙＋PDFデータ ×	
	建物完成図	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
	機器試験成績表・機器製作図(完成図)	紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
住棟LAN工事関係書類		紙＋PDFデータ ×	紙＋PDFデータ ×
行政確認・検査書類	法令適部確認書	PDFデータのみ（種の写しのみ） ×	紙＋PDF(種原本)紙のみ(図面) ×
	エレベーター法令確認証	PDFデータのみ（種の写しのみ） ×	紙＋PDF(種原本)紙のみ(図面) ×
	消防設備等に関する届出書	PDFデータのみ（種の写しのみ） ×	紙＋PDF(種原本)紙のみ(図面) ×
	道路・土地等使用申込・許可書	PDFデータのみ（種の写しのみ） ×	紙＋PDF(種原本)紙のみ(図面) ×
取扱説明書等	機器等取扱説明書	紙のみ ×	紙のみ ×

日語	中文
工事で使用する材料の報告についてです。日本では、このように書式を定めて、どのような材料が使われているかを完成後の引継書類に整理します。 目的は、主に三点です。 ①正しい材料が使われているか。 ②シックハウス対策です。有害物質が含まれていない材料を確認することが必要です。 ③維持管理において修繕工事を行う場合に材料・機器・工法の情報が必要です。 そして、どのような材料が報告対象なのかと言うことと、報告する書式を一覧に定めることが重要です。一覧を示すことで、工事関係者間での情報共有となり、「無理」・「無駄」・「ムラ」のない書類作成ができます。 ＜使用材料報告　03_03_03_06＞	关于工程中使用的材料的报告。在日本，像这样规定格式，将使用的材料整理成完成后的交接文件。 目的主要是三点。 ①使用了正确的材料吗。 ②是病态楼对策。需要确认不含有害物质的材料。 ③在维护管理中进行修缮工程时需要材料、机器、施工方法的信息。 然后，要说什么样的材料是报告对象，重要的是将报告的格式定在一览表上。通过显示一览表，可以在工程相关人员之间共享信息，制作没有“不行”、“浪费”、“不均匀”的文件。 ＜使用材料报告　03_03_03_06＞

年　月　日

工事件名

工　事　名
受　注　者
現場代理人

□居室の内装に係る使用材料報告書

工事区分	機器・材料名	必要とする規格	使用する材料の規格	規格の確認方法	空気室に関する事項			使用部位	使用住戸	現場材料確認写真（搬入時）	製品名（品番・型番）	製造業者名（連絡先）	現場材料確認日（年月日）
					必要とする規格	使用する材料の規格	規格の確認方法						

年　月　日

工事件名

工　事　名
受　注　者
現場代理人

□居室の内装に係る使用材料報告書

工事区分	機器・材料名	必要とする規格	使用する材料の規格	規格の確認方法	空気室に関する事項			使用部位	使用住戸	現場材料確認写真（搬入時）	製品名（品番・型番）	製造業者名（連絡先）	現場材料確認日（年月日）
					必要とする規格	使用する材料の規格	規格の確認方法						

日語

＜使用材料報告　対象一覧　03_03_03_06＞

表１　居室の内装に係る使用材料報告書の対象機材

工事区分	材料名	必要とされる規格	中国の規格
ﾀｲﾙ工事 （内装部分に係る材料）	ﾀｲﾙ	JIS A5209	
	ﾀｲﾙﾓﾙﾀﾙ	品質判定基準	
	接着剤	JIS A5548	
木工事	木材	JAS	
	集成材	JAS	
	合板	JAS、特記	
	接着剤	JIS A5538	
		JIS A5537	
	防腐剤	JIS K1571	
建具・ガラス工事 （内装部分に係る材料）	内装ﾄﾞｱ①	機材の品質・性能基準	
	内装ﾄﾞｱ②	機材の品質・性能基準	
	襖	機材の品質・性能基準	
塗装工事 （内装部分に係る材料）	塗装材料		
	G．P	JIS K5660	
	上記以外	当験 JIS	
仕上塗材工事 （内装部分に係る材料）	仕上塗材		
内装工事	床下地材	品質判定基準	
	発ﾌﾟﾗ系床下地材	品質判定基準	
	乾式遮音二重床	品質判定基準	
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ床材	JASS15	
	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	JAS 等	
	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	JIS A5705	
	接着剤	JIS A5536	
	ｶｰﾍﾟｯﾄ	JIS A4405 等	
	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	JIS A6901	
	ｾﾒﾝﾄけい酸ｶﾙｼｳﾑ板	JIS A5430	
	硬質繊維板	JIS A5905	
	パーティクルボード	JIS A5908	
	普通合板	JAS	
	特殊加工化粧合板	JAS	
	難燃合板	JAS	
	接着剤	JIS A5538	
	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	JIS A6921	
		求められる防火性能	
	接着剤	JIS A6922	
	発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材	JIS A9511	
	接着剤	JIS A5547	
ユニット及びｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事 （内装部分に係る材料）	浴室ユニット	機材の品質・性能基準	
	ｷｯﾁﾝｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	機材の品質・性能基準	
	収納ﾕﾆｯﾄ	特記	
	集合郵便受箱	機材の品質・性能基準	
	手すりﾕﾆｯﾄ	機材の品質・性能基準	
	収納用はしご段	特記	

中文

＜使用材料报告　对象一览　03_03_03_06＞

表１　居室の内装に係る使用材料報告書の対象機材

工事区分	材料名	必要とされる規格	中国の規格
ﾀｲﾙ工事 （内装部分に係る材料）	ﾀｲﾙ	JIS A5209	
	ﾀｲﾙﾓﾙﾀﾙ	品質判定基準	
	接着剤	JIS A5548	
木工事	木材	JAS	
	集成材	JAS	
	合板	JAS、特記	
	接着剤	JIS A5538	
		JIS A5537	
	防腐剤	JIS K1571	
建具・ガラス工事 （内装部分に係る材料）	内装ﾄﾞｱ①	機材の品質・性能基準	
	内装ﾄﾞｱ②	機材の品質・性能基準	
	襖	機材の品質・性能基準	
塗装工事 （内装部分に係る材料）	塗装材料		
	G．P	JIS K5660	
	上記以外	当験 JIS	
仕上塗材工事 （内装部分に係る材料）	仕上塗材		
内装工事	床下地材	品質判定基準	
	発ﾌﾟﾗ系床下地材	品質判定基準	
	乾式遮音二重床	品質判定基準	
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ床材	JASS15	
	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	JAS 等	
	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	JIS A5705	
	接着剤	JIS A5536	
	ｶｰﾍﾟｯﾄ	JIS A4405 等	
	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	JIS A6901	
	ｾﾒﾝﾄけい酸ｶﾙｼｳﾑ板	JIS A5430	
	硬質繊維板	JIS A5905	
	パーティクルボード	JIS A5908	
	普通合板	JAS	
	特殊加工化粧合板	JAS	
	難燃合板	JAS	
	接着剤	JIS A5538	
	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	JIS A6921	
		求められる防火性能	
	接着剤	JIS A6922	
	発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材	JIS A9511	
	接着剤	JIS A5547	
ユニット及びｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事 （内装部分に係る材料）	浴室ユニット	機材の品質・性能基準	
	ｷｯﾁﾝｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	機材の品質・性能基準	
	収納ﾕﾆｯﾄ	特記	
	集合郵便受箱	機材の品質・性能基準	
	手すりﾕﾆｯﾄ	機材の品質・性能基準	
	収納用はしご段	特記	

日語	中文
＜協力会社一覧表　05_03_04_14＞ 　工事に参加した協力会社は、工事完成後や不具合の修正のため、明確にしておく必要があります。また、実績評価の機能とリンクさせれば労務管理に役立ちます。	＜合作公司一览表　05_03_04_14＞ 　参加工程的合作公司，因为工程完成后和故障的修正，需要明确。另外，如果与实际评价的功能联系起来的话，对劳务管理也有帮助。

年　月　日

協力会社一覧表

工事件名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　受注者
現場代理人

工事内容	建設業の種類	会社名 住所	許可番号 許可年月日

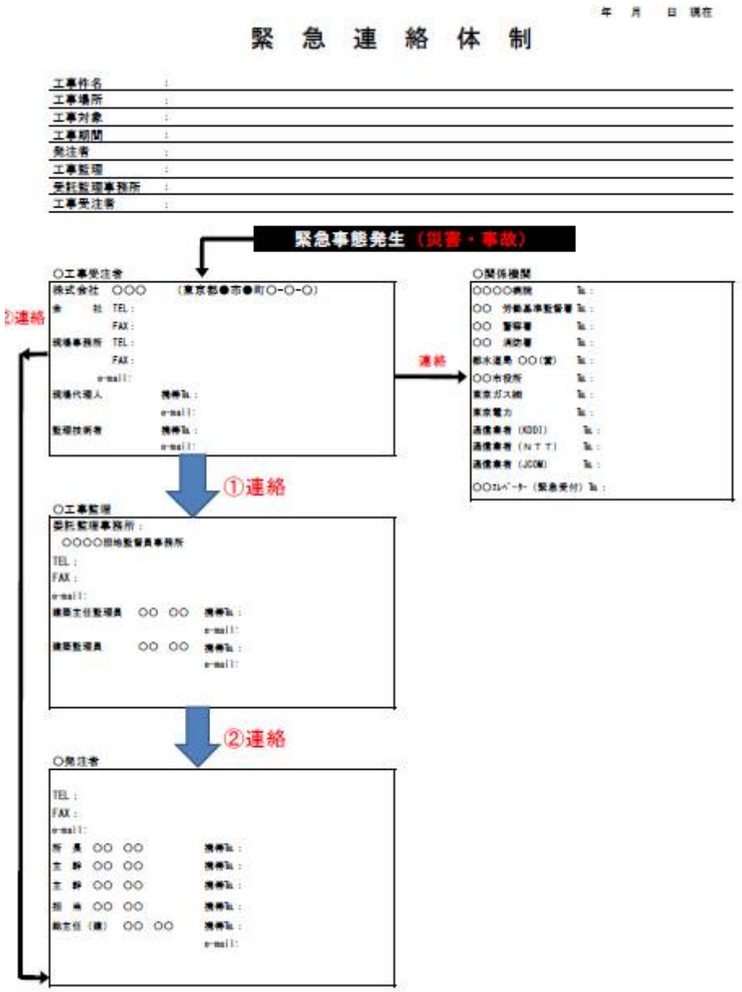
年　月　日

協力会社一覧表

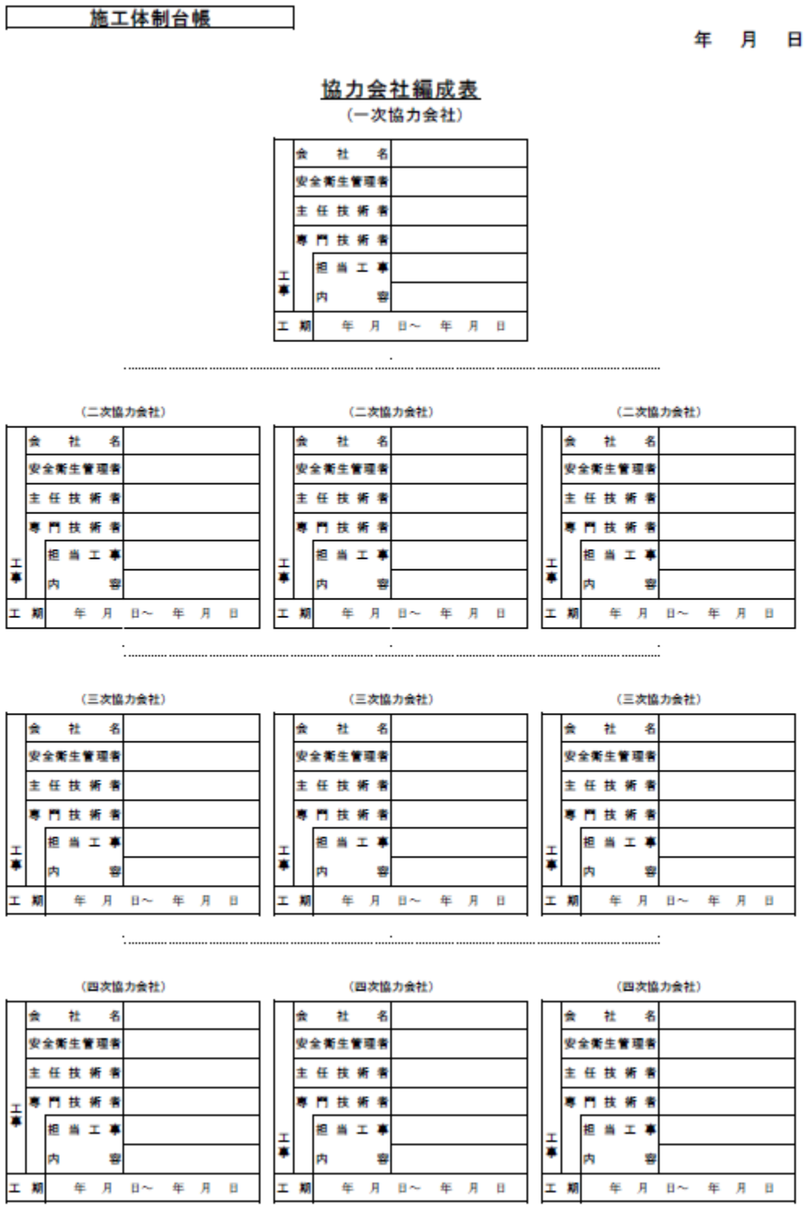
工事件名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　受注者
現場代理人

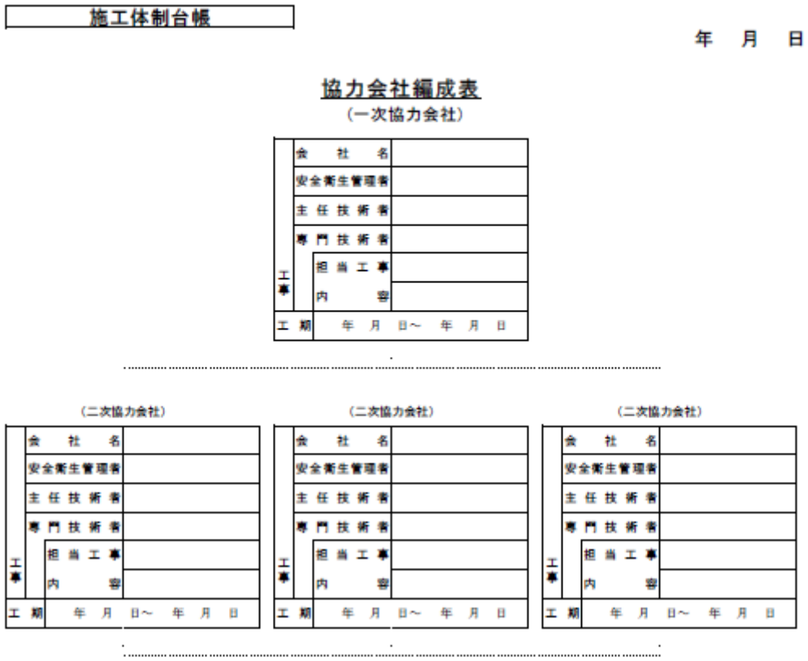
工事内容	建設業の種類	会社名 住所	許可番号 許可年月日

日語	中文
＜緊急連絡体制　04_03_04_09_10＞ 現場に事故はつきものですから、アクシデントがあった場合の連絡ルート、連絡先を事前に決めておくことが重要です。事故以外でも災害等緊急時の連絡が必要なことがありますので、事前の整理は重要です。	＜紧急联络体制　04_03_04_09_10＞ 因为现场会有事故发生，所以事先决定发生事故时的联络路线和联络方式是很重要的。事故以外也需要在灾害等紧急情况下联络，所以事前整理很重要。



日語	中文
＜施工体制　04_03_04_09_10＞ 工事の指示を明確にするためには施工体制を目に見えるようにしておく必要があります。さらに安全管理など目的に合わせた体制表を常に整理しておくことが重要です。小規模な工事では、一つの体制表に全てを記入し、工事完了まで使用できます。大規模な工事や協力会社が多い場合、また、工程が長く施工体制自体の組み換えが発生する場合は、工事期間中に見直しや更新を行います。	＜施工体制　04_03_04_09_10＞ 为了明确工程的指示，施工体制有必要让大家看到。更重要的是经常整理符合安全管理等目的的体制表。小规模工程的话，可以在一张体制表上填写全部内容，直到工程完成为止。大规模的工程和合作公司多的情况下，如果工程长时间发生施工体制本身的重组，在施工期间会进行修改和更新。





日語

施工体制台帳

工事作業所災害防止協議会兼施工体系図

発注者	
工事名	

工期	自　年　月　日
	至　年　月　日

元請	欄
元請	
現場代理人	
監督員	
監理技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
専門技術者	
担当工事内容	

会長	統括安全衛生責任者
副会長	

元方安全衛生管理者	
書記	

（一次協力会社）

会社名	
安全衛生管理者	
主任技術者	
専門技術者	
工事 担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

（二次協力会社）

会社名	
安全衛生管理者	
主任技術者	
専門技術者	
工事 担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

（三次協力会社）

会社名	
安全衛生管理者	
主任技術者	
専門技術者	
工事 担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

（注）警備業者等で、建設業者の許可対象外の業者の場合、主任技術者以下は斜線を記載し、かつ着色して施工体系図対象でなく、災害防止協議会のメンバーとして識別する。

会社名	
工事内容	
安全衛生管理者	
主任技術者	
専門技術者	
工事 担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

中文

施工体制台帳

工事作業所災害防止協議会兼施工体系図

発注者	
工事名	

工期	自　年　月　日
	至　年　月　日

元請	欄
元請	
現場代理人	
監督員	
監理技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
専門技術者	
担当工事内容	

会長	統括安全衛生責任者
副会長	

元方安全衛生管理者	
書記	

（一次協力会社）

会社名	
安全衛生管理者	
主任技術者	
専門技術者	
工事 担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

（二次協力会社）

会社名	
安全衛生管理者	
主任技術者	
専門技術者	
工事 担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

（三次協力会社）

会社名	
安全衛生管理者	
主任技術者	
専門技術者	
工事 担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

（注）警備業者等で、建設業者の許可対象外の業者の場合、主任技術者以下は斜線を記載し、かつ着色して施工体系図対象でなく、災害防止協議会のメンバーとして識別する。

会社名	
工事内容	
安全衛生管理者	
主任技術者	
専門技術者	
工事 担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

日語

＜工事担当者　04_03_04_09_10＞

建築工事は様々な工種がありますので、お互いにコミュニケーションを取れる環境が必要です。コミュニケーションが取れていないと、手配の行き違いや、工程が前後してやり直さなければならないことも出てきます。そのために、作業班ごとのリーダーくらいは、顔が分かるようしておくことが重要です。

施工体制台帳

工事担当技術者台帳

元請	
現場代理人	
監理技術者	
生年月日	

【写真貼付欄】

元請	
技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

【注意事項】

※　添付する写真は、
縦　3.0cm
横　2.5cm
程度の大きさとし、
顔が判別できるものとする。

※　番号は、施工体系図の番号とする。

※　本様式は、2部作成し、1部保管し、1部提出する。
ただし、カラーコピーもしくはデジタルカメラ写真を印刷したものを提出してもよい。

中文

＜工程负责人　04_03_04_09_10＞

建筑工程有各种各样的工种，需要能够相互沟通的环境。如果没有沟通的话，会出现安排上的错误，工程前后必须重新进行的情况。因此，重要的是要让工作人员之间能了解每个工作组的领导的脸。

施工体制台帳

工事担当技術者台帳

元請	
現場代理人	
監理技術者	
生年月日	

【写真貼付欄】

元請	
技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

【写真貼付欄】

会社名	
主任技術者	
生年月日	

専任・非専任

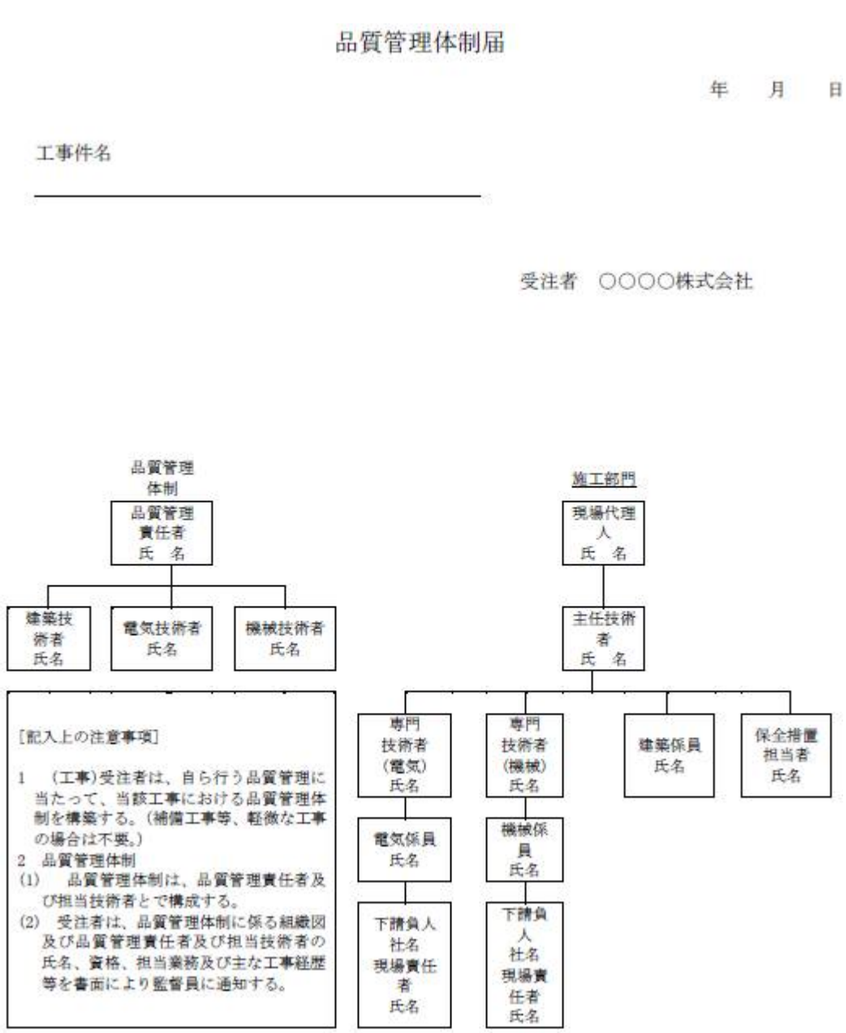
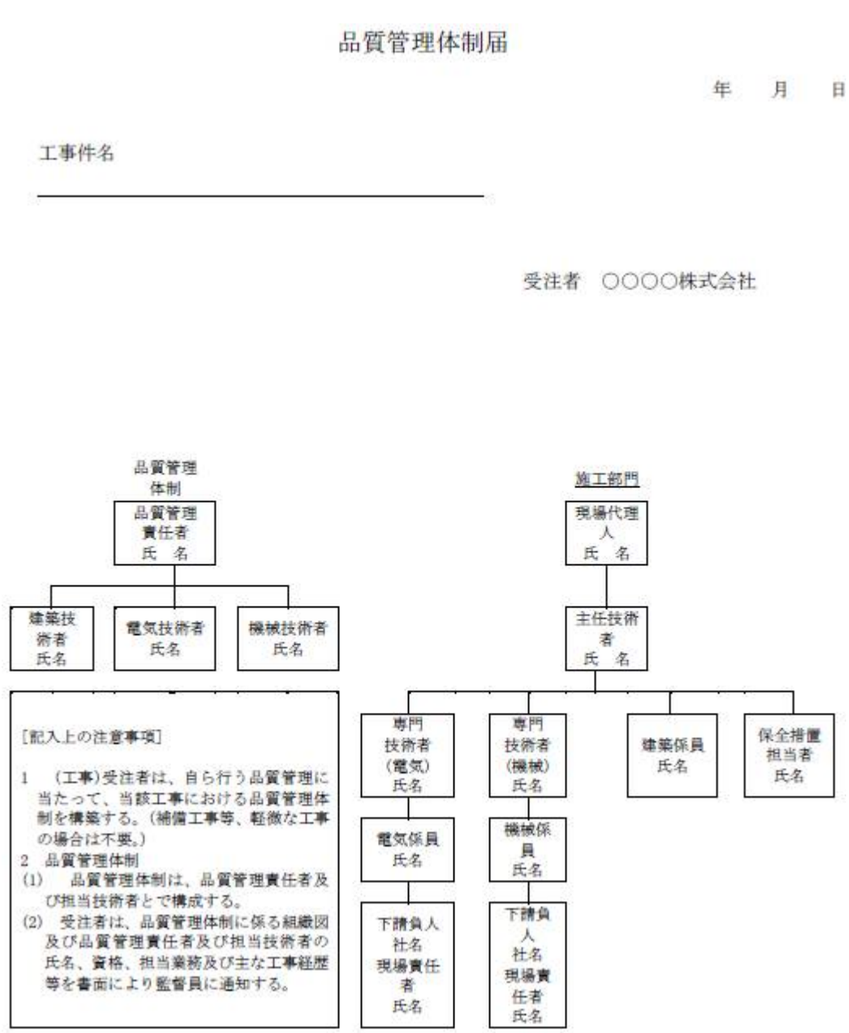
【写真貼付欄】

【注意事項】

※　添付する写真は、
縦　3.0cm
横　2.5cm
程度の大きさとし、
顔が判別できるものとする。

※　番号は、施工体系図の番号とする。

※　本様式は、2部作成し、1部保管し、1部提出する。
ただし、カラーコピーもしくはデジタルカメラ写真を印刷したものを提出してもよい。

日語	中文
＜品質管理体制　04_03_04_09_10＞ 　品質管理は、工事に関わる全て人が参加することが前提です。ただ、やはり、責任者やリーダーは、必要です。事故が起きなければ、不要な資料ですが、現場の安全を考えると、こういう事前の整理がとても重要です。安全は、品質管理の最優先事項なので、こういう取り組みが必要になります。	＜品质管理体制　04_03_04_09_10＞ 　品质管理的前提是工程相关的所有人都参加。但是，还是需要负责人和领导。如果不发生事故的话，虽然是不需要的资料，但是考虑到现场的安全，这样事前的整理非常重要。安全是品质管理的最优先事项，所以需要这样的措施。
	
施工体制は、それぞれ、重複している情報が多く、一つ一つを作成するのは面倒なのですが、アプリで行えばIDの情報で紐づけられるので、省力化が期待できます。データーを入力して帳票印刷でｐｄｆにしておけば、スマホでも確認できるようになります。アプリ内はＩＤで繋がってますのでチャットや電話もすぐに繋がることになります。このように登録してあるワーカーがどのような役回りを持っているかが分かってますので、連絡事項が明確にできます。それが、SNS の wechat よりも便利な点になると思います。	施工体制中，有很多重复的信息，一个一个地制作起来很麻烦，但是如果用 APP 进行的话，可以通过 ID 信息联系起来，可以期待节省劳力。输入数据，并在帐票印刷上做成 pdf 的话，智能手机也可以确认。因为 APP 内用 ID 连接着，所以聊天和电话也能很快连接起来。通过使用 APP，我们可以知道这样登记的工作人员有什么样的职务，所以可以明确联系事项。我觉得这比 SNS 的 wechat 更方便。

日語	中文
＜検査チェックシート　07_03_05_03_04＞ 　日本では、工事の種類については、分類方法が定められています。 　種目、科目、細目となります。これは、積算要領と連動しています。さらに、図面の特記仕様もこの分類に沿って構成されています。 　中国の積算体系は、日本の積算体系ととても良く似ています。中国では、積算について国家標準ＧＢ等で定められていますし、主要な材料、人件費などは、政府が定めた単価表がありますので、これらをベースに日本の情報と合わせていくと、中国の実情を反映できると思っています。 　工事の分類については、次のとおりです。新築工事については、中国と日本でそれほど差がないので、科目までとします。維持管理は、中国と日本では、日本の方が整理が進んでいるようですので、細目まで記載します。 　検査チェックシートは科目別・細目別に整理します。 種目別工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事(衛生・ガス・エレベーター) 土木工事 造園工事 科目別工事(新築　建築) １．仮設工事 ２．土工事 ３．地業工事(杭・基礎) ４．鉄筋工事 ５．コンクリート工事 ６．鉄骨工事 ７．コンクリートブロック・れんが工事 ８．防水工事 ９．石工事 １０．タイル工事 １１．木工事 １２．屋根及びとい工事 １３．金属工事 １４．左官工事 １５．建具・ガラス工事 １６．塗装工事 １７．仕上塗材工事 １８．内装工事 １９．部品・その他工事 ２０．ＰＣ工法による工事 科目別・細目別工事（維持管理　建築） １．防水修繕工事 1）屋根露出防水部分修繕工事 2）屋根外断熱等部分修繕工事 3）屋根外断熱露出防水工事 4）脱気絶縁複合防水工事(歩行用・軽歩行用) 5）脱気絶縁複合防水工事(非歩行用) 6）バルコニー等床防止工事 7）屋上架台・庇等防水工事 8）トレンチピット島防水工事 9）階段室床防水工事 10）こう配屋根改修工事 11）浴室防水改修工事 12）シーリング工事 ２．外壁等修繕工事 1）モルタル塗り仕上げ面の修繕工事 2）タイル梁仕上げ面の修繕工事 3）コンクリート打放し仕上げ面等の修繕工事 4）外壁複合補修工事 5）外壁複合補修工事 (再修繕：修繕した箇所の不具合を再度修繕) ３．タイル張り工事 1）浴室タイル張り工事(空家時) 2）浴室タイル張り工事(居住中) 3）内装タイル張り工事 4）浴室洗い場床タイル張り工事 5）浴室洗い場のかさ上げ工事 ４．木工事 1）防腐・防蟻・防虫処理 2）施工	＜检验单　07_03_05_03_04＞ 　在日本，关于工程的种类，规定了分类方法。 　项目、科目、细目。这与累计要领联动。并且，图纸的特别记载规格也按照这个分类构成。 　中国的累计体系和日本的累计体系非常相似。在中国，累计是由国家标准 GB 等规定的。主要材料、人事费等有政府规定的单价表。以这些为基础，结合日本的信息，我认为可以反映中国的实际情况。 　工程分类如下。关于新建工程，中国和日本没有太大的差别，所以连科目都要修。维护管理方面，在中国和日本，因为日本方面正在进行整理，所以会详细记载。 　检验单按科目、细目进行整理。 分项目工程 建筑工程 电气设备工程 机械设备工程（卫生、煤气、电梯） 土木工程 造园工程 科目别工程（新建建筑） 1. 临时工程 2. 土工程 3. 地基工程（桩子、基础） 4. 钢筋工程 5. 混凝土工程 6. 铁骨工程 7. 混凝土块、砖块工程 8. 防水工程 9. 石头工程 10. 瓷砖工程 11. 木工程 12. 屋顶及施工 13. 金属工程 14. 泥瓦匠工程 15. 门窗、玻璃工程 16. 涂装工程 17. 仕上涂材工程 18. 内部装修工程 19. 零件及其他工程 20. PCa 施工方法 科目分类·细目别工程（维持管理建筑） 1. 防水修缮工程 1）屋顶露出防水部分修缮工程 2）屋顶外隔热等部分修复工程 3）屋面外隔热防水工程 4）脱气边缘复合防水工程（步行用、轻步行用） 5）脱气边缘复合防水工程（非步行用） 6）阳台等地板防止工程 7）屋顶架台、屋檐等防水工程 8）沟槽岛防水工程 9）楼梯间地板防水工程 10）配电屋顶改修工程 11）浴室防水改修工程 12）密封工程 2. 外墙等修缮工程 1）灰浆表面的修整工程 2）瓦片梁最后一面的修缮工程 3）混凝土打通加工面等修缮工程 4）外墙复合维修工程 5）外墙复合维修工程 （再修缮：重新修补修补部位的缺陷） 3. 瓷砖工程 1）浴室镶瓷砖工程（空家时） 2）浴室瓷砖施工（居住地） 3）内饰瓷砖工程 4）浴室冲洗场地砖铺设工程 5）浴室冲洗场的加盖工程 4. 木工程 1）防腐、防蚁、防虫处理 2）施工

日語	中文
５．金属工事 1）ノンスリップ取替え工事 2）物干し金物取替え工事 3）カーテンレール取替え工事 4）ナイロンプラグ及び拡張式アンカー工事 ６．建具修繕工事 1）外回りアルミ製建具の改修工事 2）鋼製窓建具のアルミ化工事 3）浴室建具の取替え工事及び救出口の設置工事 4）シャッターの取替え工事 5）住戸玄関扉の改修工事 6）建具金物の取替え工事 7）ガラスの取替え工事 8）建具の部分修繕工事 9）アルミ製レールの修繕工事 10）網戸の修繕工事 ７．塗装工事 1）鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面塗装 2）木部及び合板面塗装 3）コンクリート、モルタル及び石膏ボード板面等の塗装 4）ビニルクロス面の塗装 →　不具合が多いので、評判が悪い 5）外装仕上材塗り工事 ８．内装修繕工事 1）遮音置敷き床工事 2）乾式遮音二重床下地張り工法 3）フローリングボード張り工事 4）複合フローリング張り工事 5）特殊加工化粧床材増し張り工事 6）ビニル床シート及びビニル床タイル張り工事 7）畳修繕工事 8）１階木造床防寒対策工事 9）内装用ボード類工事 10）壁紙張り工事 11）ひる石天井吹替工事 →　職人が少ないため実施が困難 12）ひる石天井修繕工事 →　職人が少ないため実施が困難 13）膜天井修繕工事 →　中国では材料と職人が手配できない 14）浴室天井改修工事 15）断熱・防露修繕工事 ９．部品・その他工事 1）浴室ユニット修繕工事 2）キッチンシステム修繕工事 3）改良キッチン設備工事	5. 金属工程 1）非滑轮更换工程 2）晾衣五金更换工程 3）帘轨更换工程 4）尼龙插头及扩展式锚定工程 6. 修缮建筑物工程 1）外围铝制建筑的翻修工程 2）钢窗支架的铝化工程 3）浴室设备的更换工程及救出口的安装工程 4）快门的更换工程 5）住户玄关门的改修工程 6）建筑物的更换工程 7）玻璃更换工程 8）修缮建筑物的部分工程 9）铝制轨道的修缮工程 10）纱窗修缮工程 7. 涂装工程 1）钢铁面及镀锌钢面涂装 2）木部及合板面涂装 3）混凝土、灰浆以及石膏板板面等的涂漆 4）塑料交叉面的涂漆 → 问题很多，评价不好 5）外包装装修施工 8. 内部装修修缮工程 1）隔音铺设地板工程 2）干式隔音双层地板垫施工方法 3）地板铺设工程 4）复合地板施工 5）特殊加工化妆地板加固工程 6）塑料地板布及塑料地板瓷砖施工 7）榻榻米修缮工程 8）1 楼木造地板防寒对策工程 9）内部装饰用板类工程 10）壁纸施工 11）白石顶棚吹替工程 →由于工匠很少，实施起来很困难 12）白石天花板修缮工程 →由于工匠很少，实施起来很困难 13）膜顶棚修缮工程 →在中国不能安排材料和工匠 14）浴室天花板改修工程 15）绝热、防露修缮工程 9. 零件及其他工程 1）浴室单元修缮工程 2）厨房系统修理工程 3）改良厨房设备工程

日語	中文
4）集合郵便受け修繕工事 5）手すりパネル取替え工事 6）補助手すり設置工事　→　高齢者対応 7）雨樋修繕工事 8）クーラー用スリーブ設置工事 9）階段室掲示板の取替え工事 10）洗濯間接排水設備の設置工事 11）共用廊下等床シート張り工事 12）コンクリートの撤去、補修及び目荒らし工事 13）あと施工アンカー工事 14）無収縮モルタル及びグラウト工事 １０．室内等清掃 1）室内等一般清掃 2）室内等特別清掃	4）集体邮箱修缮工程 5）扶手板更换工程 6）辅助扶手设置工程→面向老年人 7）雨樋修缮工程 8）空调用套管安装工程 9）楼梯间公告牌的更换工程 10）洗涤间接排水设备的设置工程 11）公用走廊等地板铺设工程 12）混凝土的撤除、维修及抢眼工程 13）之后施工锚工程 14）无收缩灰浆及挖掘工程 10. 室内等清扫 1）室内等一般清扫 2）室内等特别清扫
この中で、リフォームに関係しそうな工事について、検査チェックシートをまとめました。これが、検査チェックシートです。タブレットや、パソコン上での表現に配慮して、今後、見直し調整が必要です。	其中，关于与翻新有关的工程，总结了检验单。这是检验单。考虑到平板电脑和电脑上的表现，今后需要重新调整调整。

検査チェックシート （ 建築・電気・機械 ）

年　月　日

工事名

協力会社確認　受注者確認　発注者確認

住戸番号　号棟　号室 住戸　・　共用部	番号	確認項目等	確認方法 計測	目視	写真	書類	対象外	コメント
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	

検査チェックシート （ 建築・電気・機械 ）

年　月　日

工事名

協力会社確認　受注者確認　発注者確認

住戸番号　号棟　号室 住戸　・　共用部	番号	確認項目等	確認方法 計測	目視	写真	書類	対象外	コメント
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	
			○×	○×	○×	○×	▲	

日語

チェックした内容は是正確認のシートに転送されます。

検査チェックシート　是正確認 （ 建築・電気・機械 ）

協力会社　確認者:○　○　受注会社　確認者:○　○

発注者　確認者:○　○　最終　確認者:○　○

工事名

住戸番号　号棟　号室 住戸　・　共用部	番号	手直し事項等	協力会社確認		受注者確認		発注者確認		最終確認		備考
			指摘月日	確認印月日	指摘月日	確認印月日	指摘月日	確認印月日	指摘月日	確認印月日	

中文

检查的内容会转发给确认纠正的单子。

检查チェックシート　是正確認 （ 建築・電気・機械 ）

协力会社　确认者:○　○　受注会社　确认者:○　○

发注者　确认者:○　○　最终　确认者:○　○

工事名

住戸番号　号棟　号室 住戸　・　共用部	番号	手直し事項等	协力会社确认		受注者确认		发注者确认		最终确认		备考
			指摘月日	确认印月日	指摘月日	确认印月日	指摘月日	确认印月日	指摘月日	确认印月日	

日語	中文
塗装工事の確認項目の一覧になります。 この内容が、工事ごとにチェックシートに転送されます。 施工工程は、設計の内容によって異なってくるので、どのような設計をするかによって内容を整理しなくてはなりません。また、標準的な材料・工法でなければ、物件ごとに項目を追加することになります。 確認は、段階的に進めていきます。まずは、協力会社(ワーカー)です。そして、受注者(元請)。そして、発注者(設計者・監督員)となります。 確認方法は、「計測」「目視」「写真」「書類」になります。確認項目ごとにどの方法でやるかが決まってます。 確認は、項目ごとに「○」「×」でチェックします。是正確認のシートには、検査チェックシートで「×」判定をした場合、指摘月日が転記されます。「○」になれば、確認月日が転記されます。すべての段階で「○」判定になれば、その日が最終確認月日として確定します。	这是涂装工程确认项目的一览表。 这个内容会按工程转送到检验单。 施工工程因设计内容而异，所以必须根据设计内容整理内容。另外，如果不是标准的材料和施工方法的话，每个物件都要追加项目。 确认会阶段性地进行。首先是合作公司（工人）。然后，接受订货者（原承包）。然后是发包人（设计者、监督员）。 确认方法是“测量”“目视”“照片”“文件”。每个确认项目都决定了用什么方法来做。 确认时，按各个项目「○」「×」中检查。在确认纠正的单子上，请在检验单上填写「×」判定时，指正日期会被转记。变成「○」的话，确认日期会被转记。如果在所有阶段都判定为「○」，那么当天就确定为最终确认日。

17章　塗装工事

検査項目	検査細目	検査内容	検査の要点	確認方法 計測	目視	写真	書類	確認する書類等	中国の規範等	備考
一般事項	塗装	種別	S.O.P一合成樹脂調合ペイント塗り C.L　一クリヤラッカー塗り EP－I一合成樹脂エマルションペイント塗り(水がかり部分) EP－II一合成樹脂エマルションペイント塗り(水がかり部分以外) OS　一オイルステイン塗り U.C　一ウレタン樹脂ワニス塗り G.P　一つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	—	—	—	—			
材料	塗料	規格の確認	□塗装の種類,種別は特記による		○	○	○	特記仕様書		
			□塗料は規格表示品であること		○	○	○	品質証明書		
			□下塗りから上塗りまで同一製造所の製品であること		○	○	○			
		塗付量の確認	□塗付量又は標準膜厚の確認(使用量)		○	○	○	規定表 施工計画書		
			□塗料空缶の確認(製造年月日等)		○	○	○			
施工	1)素地ごしらえ	素地ごしらえの確認	□素地ごしらえの種別は特記による			○	○	施工計画書		
			□金属面のエッチングプライマーは目的に合せた種別であること JIS K 5633 エッチングプライマー この規格では、エッチングプライマーについて規定されています。 エッチングプライマーは、金属塗装の際に、金属素地に対する塗装系の付着性を増加する目的で用いるもの(1種)と、鋼板の素地調整後、本格塗装を行うまでの間、一時的に防錆力を付与する目的で用いるもの(2種)とがあり、生地を清浄にした後、直ちに塗り付け、その後にさび止め塗料、上塗り塗料などを塗り重ねて塗装系を構成する金属表面処理用の地肌塗り塗料です。 エッチングプライマーは、素地の金属と反応するためのりん酸、又はりん酸とクロム酸塩顔料とを含んでいて、ビニルブチラール樹脂などのアルコール溶液を主なビヒクルとする液状の塗料で、成分を分けて主剤と添加剤との2液とし、使用の直前に混合するように作ったものです。			○	○			
			□各工程毎の確認(色使い)		○	○				
	2)工　程	工程の確認	□所定の塗り工程を行っていること			○	○	施工計画書		
	工事成績評定　検査員評価項目 2. 施工状況 匠、出来ばえ　③塗装工事 所定の塗り工程を行っている		□各工程毎の確認(色使い)		○	○				
	3)仕上り	仕上り面の確認	□仕上り面は刷毛目、流れ、しわ、つやの不良等ないこと		○					
	工事成績評定　検査員評価項目 2. 施工状況 匠、出来ばえ　③塗装工事 ・仕上り面は刷毛目、流れ、しわ、つやの不良がない ・色ムラ等が無く、全体的に仕上り状況が良好である		□色ムラ等が無く、全体的に仕上り状況が良好である		○					

17章　塗装工事

検査項目	検査細目	検査内容	検査の要点	確認方法 計測	目視	写真	書類	確認する書類等	中国の規範等	備考
一般事項	塗装	種別	S.O.P一合成樹脂調合ペイント塗り C.L　一クリヤラッカー塗り EP－I一合成樹脂エマルションペイント塗り(水がかり部分) EP－II一合成樹脂エマルションペイント塗り(水がかり部分以外) OS　一オイルステイン塗り U.C　一ウレタン樹脂ワニス塗り G.P　一つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	—	—	—	—			
材料	塗料	規格の確認	□塗装の種類,種別は特記による		○	○	○	特記仕様書		
			□塗料は規格表示品であること		○	○	○	品質証明書		
			□下塗りから上塗りまで同一製造所の製品であること		○	○	○			
		塗付量の確認	□塗付量又は標準膜厚の確認(使用量)		○	○	○	規定表 施工計画書		
			□塗料空缶の確認(製造年月日等)		○	○	○			
施工	1)素地ごしらえ	素地ごしらえの確認	□素地ごしらえの種別は特記による			○	○	施工計画書		
			□金属面のエッチングプライマーは目的に合せた種別であること JIS K 5633 エッチングプライマー この規格では、エッチングプライマーについて規定されています。 エッチングプライマーは、金属塗装の際に、金属素地に対する塗装系の付着性を増加する目的で用いるもの(1種)と、鋼板の素地調整後、本格塗装を行うまでの間、一時的に防錆力を付与する目的で用いるもの(2種)とがあり、生地を清浄にした後、直ちに塗り付け、その後にさび止め塗料、上塗り塗料などを塗り重ねて塗装系を構成する金属表面処理用の地肌塗り塗料です。 エッチングプライマーは、素地の金属と反応するためのりん酸、又はりん酸とクロム酸塩顔料とを含んでいて、ビニルブチラール樹脂などのアルコール溶液を主なビヒクルとする液状の塗料で、成分を分けて主剤と添加剤との2液とし、使用の直前に混合するように作ったものです。			○	○			
			□各工程毎の確認(色使い)		○	○				
	2)工　程	工程の確認	□所定の塗り工程を行っていること			○	○	施工計画書		
	工事成績評定　検査員評価項目 2. 施工状況 匠、出来ばえ　③塗装工事 所定の塗り工程を行っている		□各工程毎の確認(色使い)		○	○				
	3)仕上り	仕上り面の確認	□仕上り面は刷毛目、流れ、しわ、つやの不良等ないこと		○					
	工事成績評定　検査員評価項目 2. 施工状況 匠、出来ばえ　③塗装工事 ・仕上り面は刷毛目、流れ、しわ、つやの不良がない ・色ムラ等が無く、全体的に仕上り状況が良好である		□色ムラ等が無く、全体的に仕上り状況が良好である		○					

日語	中文

内装工事は、使用する材料・工法ごとに確認項目を定める必要があります。URで標準的に使われているものの一部をまとめました。

19章　内装工事

検査項目	検査細目	検査内容	検査の要点	確認方法 計測	目視	写真	書類	確認する書類等	中国の規範等	備考
発泡プラスチック系床下地材	1)材料	規格の確認	□JISA9511のEPS(主要材料)であること		○	○	○	施工計画書		
			□JISA9511の性能試験結果の確認			○	○	試験成績表		
			□パネルは現場搬入時に質量測定確認をしているか			○	○	測定表		
			□捨て板合板は2類2等、水掛かりは1類2等		○	○	○			
	2)施工	敷き込みの確認	□下地材の下部に設備配管等がなされている箇所には下地材上面に位置の表示がされていること（釘を打ち抜かない様に）		○					
セルフレベリング材	1)材料	規格の確認	□種類は特記による				○	特記仕様書		
			□M-103セルフレベリング材に適合する製品か				○	品質証明書		
	2)施工	施工温度	□気温が3度以下の時は施工しない				○	施工計画書		
乾式遮音二重床工法用床下地材	1)材料	規格の確認	□JISA5908によるものであること		○	○	○			
			□JISA5908の性能試験結果の確認			○	○	試験成績表		
			□パネルは現場搬入時に質量測定確認をしているか			○	○	測定表		
			□捨て板合板は2類2等、水掛かりは1類2等							
			□パーティクルボードと捨張り合板は19.3.1表及び19.3.2表による（19.3.1表・19.3.2表は下記）		○	○	○	施工計画書		
			□水回りに使用する場合は表裏面及び小口面を防湿処置しているか(液状パラフィン含浸)							
			□ベースパネルに製造業者名、製造年月日及び品質表示があるか		○	○	○			
			□防振ゴムの硬度は製造所の仕様で硬度表示の刻印が確認できるか		○	○	○			
			□床下点検口を確認すること		○	○	○			
	2)施工		□捨て張り合板の下地への留めつけは19.3.3表による（19.3.3表は下記）			○	○	施工計画書		
			□コンクリートスラブに穿孔等の損傷を与えない			○	○			
			□施工完了後、床きしみがなく他部位との取合いが適正か		○					

19.3.1表　二重床下地材の適用区分

部位	二重床下地材
基準階における床下地(洗面所・脱衣室、和室、物入、押入等を除く。)	乾式(基準階タイプ)
1階(最下階)の床下地(洗面所・脱衣室、和室、物入、押入等を除く。)	乾式(1階タイプ)※
洗面・脱衣室の床下地	乾式(1階タイプ)
和室の床下地	乾式(和室タイプ)

(注)※1階(最下階)の床下地に乾式の1階タイプを使用する場合には、19.11.2によるフォームポリスチレンフォーム保温材(?)をスラブ下に張るものとする。

19.3.2表　パーティクルボードと捨て張り合板の厚さ　(単位:mm)

捨て張り合板の有無	パーティクルボードの厚さ	捨て張り合板の厚さ
合板無しの場合	25以上	—
合板有りの場合	25以上	5.5以上
	20	12以上

19.3.3表　捨て張り合板留め付け

捨て張り合板厚さ	釘の種類	標準釘本数 900×1,800の場合
12~9mm	スクリュー釘(胴部径1.8mm以上、長さ32mm)	短辺方向 5列 長辺方向 8列
5.5mm	スクリュー釘(胴部径1.7mm以上、長さ25mm) 又は、市?ステープル釘(線径1.1mm以上、長さ25mm以上)	短辺方向 6列 長辺方向 9列

工事成績評定　検査員評価項目
2. 施工状況
Ⅲ. 出来ばえ　⑥内装工事
・床のきしみがなく、仕上げも良好である

内部装修工程需要根据使用的材料、施工方法来确定确认项目。总结了 UR 中标准使用的部分。

19章　内装工事（表与左栏相同：19.3.1表、19.3.2表、19.3.3表，工事成績評定 検査員評価項目）

日語

塗装工事について、検査チェックシートの記入例を作成しました。

検査チェックシート（ 建築:塗装工事 ）　　年　月　日

プルダウンメニュー

工事名　　協力会社確認　受注者確認　発注者確認

住戸番号　号棟　号室　室名

工事種目等　・　撮影工程

リンク

直接入力

番号	確認項目等	確認方法 計測	目視	写真	書類	対象外	コメント
	＜規格の確認＞						
1	塗装の種類、種別は特記による		○×	○×	○×	▲	
2	塗料は規格表示品であること		○×	○×	○×	▲	
3	下塗りから上塗りまで同一製造所の製品であること		○×	○×	○×	▲	
	＜塗付量の確認＞						
4	塗付量又は標準膜厚の確認(使用量)		○×	○×	○×	▲	
5	塗料空缶の確認(製造年月日等)		○×	○×	○×	▲	
	＜素地ごしらえの確認＞						
6	素地ごしらえの種別は特記による			○×	○×	▲	
7	金属面のエッチングプライマーは目的に合せた種別であること			○×	○×	▲	
8	各工程毎の確認(色使い)		○×	○×		▲	
	＜工程の確認＞						
9	所定の塗り工程を行っていること			○×	○×	▲	
10	各工程毎の確認(色使い)		○×	○×		▲	
	＜仕上り面の確認＞						
11	仕上り面は刷毛目、流れ、しわ、つやの不良等ないこと		○×			▲	
12	色ムラ等が無く、全体的に仕上り状況が良好である		○×			▲	

検査チェックシート　是正確認 （ 建築:塗装工事 ）

工事名

住戸番号　号棟　号室

住戸　・　共用部

番号	手直し事項等	協力会社確認 指摘月日	協力会社確認 確認印月日	受注者確認 指摘月日	受注者確認 確認印月日	発注者確認 指摘月日	発注者確認 確認印月日	最終確認 確認印月日	備考
	＜規格の確認＞		A		D		G	G	
1	塗装の種類、種別は特記による		0/00		0/00		0/00	0/00	
2	塗料は規格表示品であること		0/00		0/00		0/00	0/00	
3	下塗りから上塗りまで同一製造所の製品であること		0/00		0/00		0/00	0/00	
	＜塗付量の確認＞		A		E		G	G	
4	塗付量又は標準膜厚の確認(使用量)		0/00		0/00		0/00	0/00	
5	塗料空缶の確認(製造年月日等)		0/00		0/00		0/00	0/00	
	＜素地ごしらえの確認＞		B	D	F		G	G	
6	素地ごしらえの種別は特記による		▲	0/00	0/00		0/00	0/00	
7	金属面のエッチングプライマーは目的に合せた種別であること		▲	0/00	0/00		0/00	0/00	
8	各工程毎の確認(色使い)		0/00	0/00	0/00	0/00	0/00	0/00	
	＜工程の確認＞		B	D	F	G	G	G	
9	所定の塗り工程を行っていること		0/00	0/00	0/00		0/00	0/00	
10	各工程毎の確認(色使い)		0/00	0/00	0/00	0/00	0/00	0/00	
	＜仕上り面の確認＞	B	A	E	F	G			
11	仕上り面は刷毛目、流れ、しわ、つやの不良等ないこと	0/00	0/00	0/00	0/00	0/00			
12	色ムラ等が無く、全体的に仕上り状況が良好である	0/00	0/00	0/00	0/00	0/00			

確認者　A B　D E F　G

中文

关于涂漆工程，制作了检验单的填写例子。

検査チェックシート（ 建築:塗装工事 ）　　年　月　日

プルダウンメニュー

工事名　　協力会社確認　受注者確認　発注者確認

住戸番号　号棟　号室　室名

工事種目等　・　撮影工程

リンク

直接入力

番号	確認項目等	確認方法 計測	目視	写真	書類	対象外	コメント
	＜規格の確認＞						
1	塗装の種類、種別は特記による		○×	○×	○×	▲	
2	塗料は規格表示品であること		○×	○×	○×	▲	
3	下塗りから上塗りまで同一製造所の製品であること		○×	○×	○×	▲	
	＜塗付量の確認＞						
4	塗付量又は標準膜厚の確認(使用量)		○×	○×	○×	▲	
5	塗料空缶の確認(製造年月日等)		○×	○×	○×	▲	
	＜素地ごしらえの確認＞						
6	素地ごしらえの種別は特記による			○×	○×	▲	
7	金属面のエッチングプライマーは目的に合せた種別であること			○×	○×	▲	
8	各工程毎の確認(色使い)		○×	○×		▲	
	＜工程の確認＞						
9	所定の塗り工程を行っていること			○×	○×	▲	
10	各工程毎の確認(色使い)		○×	○×		▲	
	＜仕上り面の確認＞						
11	仕上り面は刷毛目、流れ、しわ、つやの不良等ないこと		○×			▲	
12	色ムラ等が無く、全体的に仕上り状況が良好である		○×			▲	

検査チェックシート　是正確認 （ 建築:塗装工事 ）

工事名

住戸番号　号棟　号室

住戸　・　共用部

番号	手直し事項等	協力会社確認 指摘月日	協力会社確認 確認印月日	受注者確認 指摘月日	受注者確認 確認印月日	発注者確認 指摘月日	発注者確認 確認印月日	最終確認 確認印月日	備考
	＜規格の確認＞		A		D		G	G	
1	塗装の種類、種別は特記による		0/00		0/00		0/00	0/00	
2	塗料は規格表示品であること		0/00		0/00		0/00	0/00	
3	下塗りから上塗りまで同一製造所の製品であること		0/00		0/00		0/00	0/00	
	＜塗付量の確認＞		A		E		G	G	
4	塗付量又は標準膜厚の確認(使用量)		0/00		0/00		0/00	0/00	
5	塗料空缶の確認(製造年月日等)		0/00		0/00		0/00	0/00	
	＜素地ごしらえの確認＞		B	D	F		G	G	
6	素地ごしらえの種別は特記による		▲	0/00	0/00		0/00	0/00	
7	金属面のエッチングプライマーは目的に合せた種別であること		▲	0/00	0/00		0/00	0/00	
8	各工程毎の確認(色使い)		0/00	0/00	0/00	0/00	0/00	0/00	
	＜工程の確認＞		B	D	F	G	G	G	
9	所定の塗り工程を行っていること		0/00	0/00	0/00		0/00	0/00	
10	各工程毎の確認(色使い)		0/00	0/00	0/00	0/00	0/00	0/00	
	＜仕上り面の確認＞	B	A	E	F	G			
11	仕上り面は刷毛目、流れ、しわ、つやの不良等ないこと	0/00	0/00	0/00	0/00	0/00			
12	色ムラ等が無く、全体的に仕上り状況が良好である	0/00	0/00	0/00	0/00	0/00			

確認者　A B　D E F　G

日語	中文
是正確認の記入例です。 検査チェックシートの確認方法に表示された「〇」「×」「▲」を選択します。 「規格の確認」と「塗布量の確認」は、全ての確認者が「〇」を選択してますので、「〇」を選択した日が確認日に月日が転送されます。 「素地こしらえ」と「工程の確認」は、協力会社は「〇」を選択し確認日が確定した後、受注者が「×」を選択し指摘事項をコメントしたので、指摘日に月日が転送されます。発注者は受注者の指摘と是正を確認し、かつ発注者としての指摘がなかったので「〇」を選択し、確認日に月日が転送されます。受注者が「〇」を選択したことで最終確認が確定すると言う流れです。 「▲」を選択した場合は、是正報告に月日が反映されません。たとえば、協力会社が「▲」を選択し、受注者が「×」を選択した場合は、その項目について協力会社の欄に月日が表示されないので、協力会社が見落としていたか、理解していなかったかになります。 こう言うことが、時系列で把握できますので、不具合の原因がどの時点で発生したかが、概ね追いかけられるようになり、改善点として次回に反映されます。 最後の「仕上がり確認」は、指摘と是正確認が、協力会社・受注者ともに終わっているのですが、発注者からの指摘があったので、最終確認となっていない場合です。 紙ベースで当たっていくと、記入漏れがあったりしますが、アプリ作成すれば未記入をエラーで表示できますし、次のステップに進みませんので、人為的なミスが防げるようになると思います。 ここには、標準的な項目を記載していますが、実際には、現場ごとに設計図書の特記事項や施工計画書の記載事項を検査チェックシートに転記します。設計図書に記載がなかったり、施工計画書がなかった場合は、標準的な項目のみでワーカーは品質管理を行います。あとから施主や設計者からクレームが来ても、設計図書や施工計画書に記載がなかったと、異議申し立てが出来ることになります。なので、ワーカーにとっても、日々の作業の中での確認行為はとても大事なことだと認識してもらえると思います。 施工管理アプリを使用して入力すれば、記録に残ります。誰がやったのかは、ID で識別できます。 現場でのやり取りの記録ですが、施工管理アプリのタブレットやスマホに図面を表示して、それにペン入力しているようです。タブレットやスマホには、マイクが付いていますので、録音機能と連動させて図面ごとに打ち合わせの音声ファイルを作れるようにすれば良いのかなと思います。音声ファイルがあれば、音声識別ソフトで議事録を書き起こすことが出来ますし、ソフトが認識していない部分は音声を聞きながら書き起こすことになるのでしょう。 記録を残すことで、異議申し立ては出来るのですが、解決はしないと思います。それは協議の部分ですね。受注者・ワーカーの責任でないのなら、施主か設計者が費用を負担して是正するかやり直すかの協議をするのだと思います。 やったかやらなかったのかは、「〇」「×」の選択だけですが、打ち合わせたことができたかどうかは、難しいですね。僕は、なるべく、文書や図面で指示するようにしてします。口頭のみとなれば、録音して、文書化して、その都度確認するしかないのでしょう。 施工管理アプリの中には、チャット機能や報告書作成機能がありますから、それを利用してお互いに確認しあえるコミュニケーションが大事だと思います。	这是修改确认的填写示例。 检验单的确认方法中显示的「〇」「×」「▲」选择。 “规格的确认”和“涂抹量的确认”，因为所有的确认者都选择了「〇」，所以选择了「〇」的日期会在确认日转发日期。 “基础制作”和“工程确认”是合作公司在选择「〇」确认日后，接受订货的人「×」并评论了指正事项，将在指正日转发日期。订货者确认接受订货者的指摘和纠正，并且没有作为订货者的指摘，所以选择「〇」，在确认日转发日期。根据接受订货者选择了「〇」，最终确认确定的流程。 选择「▲」时，纠正报告中不会反映年月日。例如，合作公司选择「▲」，接受订货者选择「×」的情况下，该项目在合作公司的栏中不显示日期，所以可能是合作公司看漏了，或者是不理解了。 这样的话，因为可以根据时间顺序来把握，故障的原因大概是在什么时候发生的，会被追赶，作为改善点在下次被反映。 最后的“完成确认”，指出和纠正确认，合作公司和接受订货者都结束了，但是因为有订货者的指摘，所以没有最终确认的情况。 如果打到纸质版的话，会有漏记的情况。如果制作了应用程序的话，可以显示未填写的错误，因为无法进入下一步，所以可以防止人为失误。 这里记载了标准的项目，实际上，每个现场都会将设计图书的特别记载事项和施工计划书的记载事项转记到检验单上。设计图上没有记载，没有施工计划书的情况下，只有标准的项目，工作人员进行品质管理。之后即使施主和设计者提出索赔，如果设计图书和施工计划书上没有记载的话，也可以提出异议。因此，对于工作人员来说，每天工作中的确认行为也是非常重要的。 使用施工管理应用程序输入的话，会留下记录。谁做的，可以用 ID 来识别。 虽然是现场的交换记录，但是施工管理应用程序的平板电脑和智能手机上显示了设计图，然后输入笔。平板电脑和智能手机上都有麦克风，我想只要能和录音功能联动，按照图纸制作会议的声音文件就好了。如果有声音文件的话，可以用声音识别软件来写议事录，软件不认识的部分也可以边听声音边写吧。 记录下来的话，虽然可以提出异议，但是我觉得不会解决。那是协议的部分吧。如果不是接受者· 工作者的责任，我想是由施主或设计者负担费用来进行修改还是重做的协商。 到底做了还是没做，「〇」「×」的选择，不过，能不能商量了，很难。我尽量用文件和设计图来指示。如果只是口头上说说的话，就只能录音，做成文件，每次都要确认一下。 施工管理应用程序中，有聊天功能和报告书制作功能，所以利用这个互相确认的交流很重要。

日語	中文
どのような確認を行うにしても、中国の国家標準・規範類との比較・見直しは必要です。日本語を中国語にするだけではなく、そのような作業も並行して進めるべきだと思います。 一方で、仕上がり具合は、誰の目にも明らかですし、材料・工法にあまり影響されないので整理しやすいと思います。 それでも、建築のすべての工事や設備工事についての整理は、かなり時間がかかります。さらに、維持管理、そして、ＵＲ以外の官庁営繕部門や、日本建築学会の知見を反映すると果てしない作業です。 全てを終わらせてから回すよりは、僕のできる範囲でまとめて、バージョンアップしていくのが現実的なのでしょう。施工管理アプリの開発の前段として、今までの資料でモニタリングしてみることが有効だと思われます。 日本の施工品質管理は体系化されていますが、普及していません。その大きな原因は、①教える人がいない②教材がない③ユーザーが対価として評価しない、ことだと思います。だから、海外から日本の品質管理について学びたいと思っても、伝えられないのです。でも、現実には施工品質管理行われていて、それは、個人の経験であったり、そういうスタッフを抱えている施工会社のノウハウだったりするのです。 僕は、UR の品質管理の内容をオープンにするべきだと言ってきましたが、それはかないませんでした。理由は、オープンにすると施工者はそこしかやらなくなるからとの事でした。僕の考えは違っていて、良いことをやるのだからオープンにするべき、誰がやっても 60 点から 70 点くらい取れるような環境を整えて、UR は残りの 30 点～40 点をどうすれば補うことができるかを一緒に考えることが大事だと思っていました。	无论进行怎样的确认，都需要和中国的国家标准、规范类进行比较、修改。我认为不仅仅是把日语变成中文，那样的工作也应该并行进行。 另一方面，完成的情况在任何人眼里都很明显，不会受到材料、施工方法的影响，所以很容易整理。 尽管如此，对于建筑的所有工程和设备工程的整理还是需要相当长的时间的。而且，如果反映出维持管理，以及 UR 以外的政府机关经营部门和日本建筑学会的知识的话，是没有尽头的工作。 比起全部结束后再转，现实是在我力所能及的范围内汇总，进行版本升级。作为施工管理应用程序开发的前一步，我认为用至今为止的资料进行监测是有效的。 日本的施工品质管理体系化了，但是没有普及。我认为其中最大的原因是①没有人教②没有教材③用户不评价其为代价。因此，即使想从海外学习日本的品质管理，也无法传达。但是，现实中施工品质管理是进行的，这是个人的经验，也是拥有这样工作人员的施工公司的技术诀窍。 我说应该开放 UR 的品质管理的内容，但是没有实现。理由是，如果开放的话施工者就只能在那里做了。我的想法不一样，因为要做好事，所以应该开放，调整一个无论谁做都能得 60 分到 70 分的环境，我觉得一起考虑如何弥补剩下的 30 分到 40 分是很重要的。

日語	中文
＜工事写真　09_04_02_06_08＞ 日本では、だいたい、このようなフォーマットで工事写真がアルバムになります。	＜工程照片　09_04_02_06_08＞ 在日本，工程照片一般都是以这样的形式制作成相册的。

工事件名：	
	写真-ファイル名
	撮影者
	撮影年月日
	撮影場所　号棟
	階
	号室・区画
	室名
	工事種目等
	撮影工程
	材料・施工状況等
	状況の詳細
	コメント

	写真-ファイル名
	撮影者
	撮影年月日
	撮影場所　号棟
	階
	号室・区画
	室名
	工事種目等
	撮影工程
	材料・施工状況等
	状況の詳細
	コメント

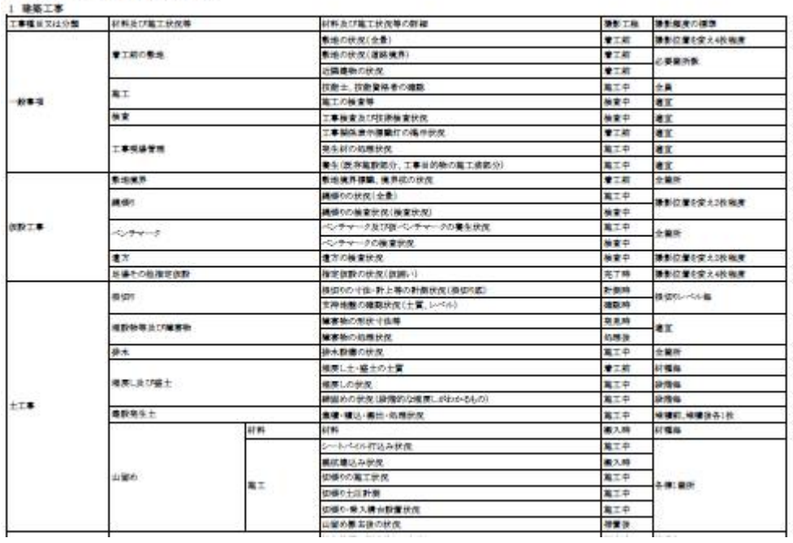
	写真-ファイル名
	撮影者
	撮影年月日
	撮影場所　号棟
	階
	号室・区画
	室名
	工事種目等
	撮影工程
	材料・施工状況等
	状況の詳細
	コメント

工事件名：	
	写真-ファイル名
	撮影者
	撮影年月日
	撮影場所　号棟
	階
	号室・区画
	室名
	工事種目等
	撮影工程
	材料・施工状況等
	状況の詳細
	コメント

	写真-ファイル名
	撮影者
	撮影年月日
	撮影場所　号棟
	階
	号室・区画
	室名
	工事種目等
	撮影工程
	材料・施工状況等
	状況の詳細
	コメント

	写真-ファイル名
	撮影者
	撮影年月日
	撮影場所　号棟
	階
	号室・区画
	室名
	工事種目等
	撮影工程
	材料・施工状況等
	状況の詳細
	コメント

「営繕工事写真撮影要領（平成２８年版）による工事写真撮影ガイドブック平成３０年版 /公共建築協会/国土交通省大臣官房官庁営繕部」に準じたものとします。アプリ上では、工事概要書、検査チェックシート、工事写真	根据《修建工程照片摄影要领（平成 28 年版）的工程照片摄影指南平成 30 年版/公共建筑协会/国土交通省大臣官房官厅修建部》为准。在 APP 上，工程概要书，检验单，工程照片相互链接。

日語	中文
が相互にリンクするものとします。 工事写真は、数多く撮って、その中から必要なものを残すと言うやり方をしていることが多いと思いますが、あとから見直すと、欲しい写真がなかったりします。なので、品質管理の項目と関連づけて、少なくともこれだけは記録する必要があると言うことを示すべきだと思っています。それは、行政も同様に考えていて、国の予算は、会計検査院の検査を受けますから、それらの対応するなかで、必要なものが示されていったと理解しています。それぞれの項目は、品質管理の項目と精査する必要があります。 品質管理の項目にしても、写真撮影要領にしても、それぞれ、電気設備も衛生設備も整理されています。 工事写真は施工品質管理に直結しますし、どこを撮影するかがわかれば、そこをチェックすることも身に着くと思います。また、工事写真を撮ると言うことは、法規制や材料の規格に左右されず、世界共通だと思います。「工事写真撮影要領」を出版すれば、どこの国でも需要があると思います。だから、それを施工管理アプリに装備すれば、本を現場で見る必要がなくなりますし、撮影していないことをアプリでメッセージにすることができるので、とても便利だと思っています。 稼働工事の標準撮影対象及び撮影頻度 1 建築工事  ＜工程表　01_03_01_01＞ ＜打合記録　02_03_02_01_03＞	工程照片，我想多拍几张，从中留下必要的东西这样的做法比较多，但是之后再重新看的话，就没有想要的照片了。因此，我认为应该和品质管理的项目相关联，至少需要记录这些。行政也同样考虑，国家的预算是接受会计检查院的检查，所以理解在这些对应中，显示了必要的东西。每个项目都需要仔细检查质量管理项目。 无论是品质管理项目，还是照片拍摄要领，都分别整理了电气设备和卫生设备。 工程照片直接关系到施工品质管理，如果知道拍摄哪里的话，我想也能掌握检查那里的情况。另外，拍摄工程照片不受法律规定和材料规格的左右，是世界共通的。如果出版了“工程摄影要领”的话，我想任何国家都有需求。所以，如果安装在施工管理 APP 上的话，就不需要在现场看书了，也可以用 APP 把没有拍摄的东西发成信息，我觉得非常方便。 稼働工事の標準撮影対象及び撮影頻度 1 建築工事 ＜工程表　01_03_01_01＞ ＜打击记录　02_03_02_01_03＞